

新居浜駅周辺まちづくり協議会 委員

H26.8.5(第3回)

No.	区 分	所 属	役 職	氏 名	備 考	出 欠
1	学識経験者	愛媛大学大学院	教授	吉井 稔雄		○
2		新居浜工業高等専門学校	校長	鈴木 幸一		○
3	関係事業者又は 団体の者	(一社)新居浜市医師会	会長	中山 恵二		○ 途中退席
4		(一社)新居浜市観光協会	専務理事	鎌田 眞太郎	(代理) 事務局長 吉本さやか	○
5		四国旅客鉄道(株)	総合企画本部 担当部長	長戸 正二		×
6		新居浜商工会議所	観光まちおこし 委員会委員長	妹尾 次郎		○
7		新居浜市女性連合協議会	総務	佐々木 利美		×
8		(公社)新居浜青年会議所		嶋田 純也		○ 途中退席
9		新居浜市農業委員会	農地部会長代理	篠原 修		×
10		新居浜市農業協同組合	常務理事	曾我部 英敏	(代理) 組合長 石井俊一	○
11		新居浜市福祉施設協議会	副会長	住友 裕美		○
12		松木坂井自治会		相原 悦滋		○
13		新居浜市連合自治会	副会長	坂上 公三		×
14	公募	市民公募委員1		多田羅 弘美		○
15		市民公募委員2		白石 哲也		×

新居浜駅周辺まちづくり協議会（第3回）

議事概要

日時：平成26年8月5日（金）

午後1時から午後2時45分まで

場所：新居浜ウイメンズプラザ 研修室（2階）

1. 開会：新居浜市建設部 曾我部長より挨拶

2. 議事

(1) 前回のまとめ

事務局から資料説明

《質疑応答》

愛媛大学大学院教授 吉井 稔雄会長	<ul style="list-style-type: none">・ 前回のまとめを発表していただきましたが、何かご質問、あるいは抜け落ち等ありましたら、よろしいですか。・ では、2つ目の議題に進みまして、「新居浜駅南地区まちづくり」のご説明をお願いいたします。
----------------------	---

(2) まちづくりの方向性

①土地利用について

事務局から資料説明

《協議》

愛媛大学大学院教授 吉井 稔雄会長	<ul style="list-style-type: none">・ 道路の話については、後で議論する時間を持ちますので、まずは「賑わい」、「文化・交流」、「生活」、「住居」系といった土地利用の形態についてどういう配置にするか、あるいはどういう割合で用意するかといったところについて、皆さんにご意見いただければと思います。・ ABCD四つの案がございますけれども、どれを取り上げていただいても結構ですので、どの案がいいという意見、これはよろしくないという意見、改善案をご提案いただいても結構ですので意見をいただければと思います。
新居浜市農業協同組合 常務理事 曾我部 英敏氏 (代理) 石井 俊一氏	<ul style="list-style-type: none">・ どの案にしましても「賑わい」、「文化・交流」については駅のすぐ南にJAの施設がありますので、全て入っているということで、中長期的な構想があるので、それらも含めて話をしたいなと思います。・ 我々も貢献できたらなと思っているのですが、もし出来るとすれば、あまり大規模ではないかもわかりませんが、農産物の直売所や、あるいは都市近郊の農業公園的なものだと考えます。・ 岸和田や堺、京都の大原あたりにも道の駅の農産物直売所があります。それと周辺の市民の方が、メニューごとに価格を設定していろんな農産物をつくれるというような事をしています。そういうものが出来ればという、構想はあります。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ それとあわせて、農協もいろんな事業を営んでいますが、JAバンクの体制整備基準というもので、ある一定の貯金額、一定数以上の職員の配置ということが言われています。そういう関係で、ついこないだまでは市内に10支所あったんですが、それを支所の集約というものを行い、今は8支所になったのですが、上部の地区（泉川、角野、船木）を一つにするという計画がありまして、ちょうど中間地点で自分の用地があるということで、駅裏というのも1つの候補地であるという位置づけがあります。 ・ 駅南開発を長期的にプランを立て、いつかどこかで何かの形ですのでであろうなと思っていたのですが、具体的な形で話が出てきている状況ですが、駅南の市内の中心になるところでして、古い事務所であるとか、そういうのがたくさんあります。それを21年度に計画をして22年度に経済センター、JAグリーン、これは農家の皆さん方に利用していただける農薬であるとか肥料であるとかそういった農業資材、こういうものを1カ所で取り扱う。それぞれの需要にあった支所にいろんなものを置いていたんですが、それをやめて農業関係の人が集中して来ていただけるように店舗をやっています。 ・ 市内の共同販売、農協の方で集まる生産会というものがあって、そこで取り扱っているイチゴやトマトや米や麦、そういうものがその場所に集まってきている、倉庫的なものもございまして。 ・ 22年度に建物を新規に建て、広い駐車場で効率的に、経済的に動けるようなそういう敷地にやっとなったところでございます。 ・ 周辺の農家の皆様方に場所をお借りいたしまして、水稻の育苗というものをやっております。これが水稻で5万枚くらい取り扱っています。新居浜市は水稻面積400haと言われていまして生産調整の関係とかいろいろありまして、そのうちの半分近く、農協が育苗をやっています。 ・ トータルで見た中で、22年にいろいろ改修して進めている中でも農家に対する役割はある一定果たした施設であるということと、それとあわせて中長期的な意味合いの中で直売所、あるいは農業公園そういうものを加えた中で敷地を広く使ってのいろんな取り組みは出来ないかなと。ただし、新居浜の農家というのは純粋な農業者というのが3,000名というくらいです。そのうちで水稻も作り野菜も作るというのが1,000名程度ぐらいいかない。直売関係に出荷をされている方も300名程度です。高齢の皆さん方がだんだんリタイアされ、新規で農業生産に携わる方というのが非常に少ないです。そういう中でも60～65歳くらいで定年退職された方が2反、3反、4反、それぐらいの農地があるから
--	---

	<p>ということで農業参入される方がおられます。3年間で35名ほど、企業をリタイアされた方が加入されている状況です。新規の農業に携わる人についても非常にたくさんいるという状況でございません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ いま、直売関係も現実に農協がやっている直売、学校給食含めて1億円ほどの取扱いがございます。それとあわせてフジ、生協、イオンの中のインショップもやっております、その取扱いが1億円。すべてあわせて2億円分の取扱いがございます。 ・ 駅裏でこういう直売をやろうというような事を考えますと、農業者に増えていただきたいのですが、これもなかなか難しい中で、農業関連あるいは、土産物もプラスアルファしていろいろとお客様に対応できる、ある一定数の役割が出来るかもわからないな、というようなことです。
愛媛大学大学院教授 吉井 稔雄会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成22年に作られたということですか。
新居浜市農業協同組合 常務理事 曾我部 英敏氏 (代理)石井 俊一氏	<ul style="list-style-type: none"> ・ もともとあそこは古い施設がずっとあったんですが、整備をきちんとして建物改修をしたり、法律的にいろいろと出来るような施設にしたのが22年です。
愛媛大学大学院教授 吉井 稔雄会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ わかりました。ありがとうございます。 ・ いま案をいただいているのですけれども、これに対しては何かコメントはございませんか。
新居浜市農業協同組合 常務理事 曾我部 英敏氏 (代理)石井 俊一氏	<ul style="list-style-type: none"> ・ いずれにしても全て「賑わい」、あるいは「文化・交流」、そういう中に入っている。我々としては非常に柔軟に考えなければならぬんだと。絶対できませんとかそういうわけではない。 ・ 先ほど申し上げた大原の道の駅的な直売関係が、いまマイントピアに道の駅として整備されています。道の駅プラスアルファ、あるいは農業体験できるような、そういうものを合わせてセットで出来ればなあとそういう気持ちはあります。
愛媛大学大学院教授 吉井 稔雄会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ ありがとうございます。みなさんいかがでしょうか。
新居浜工業高等専門学校 校長 鈴木 幸一氏	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今は、JRにお客さんが来られて、駅北側のフジとかああいうようなところが賑わいとなっているわけです。 ・ 人の動きは要するに、駅をはさんだ南側が「賑わい」の場になるというのは、今できてる跨線橋を注目した場合にはやはり対面に「賑わい」の場が大きくできていればこれを有効に人が動ける。 ・ あとAB案とCD案の違いはアンダーパスをつくるかどうかということです。これは人が動くアンダーパスなのか、車を通すのか。車を通すとすればその目的は何なのか。そこらをちょっと議論し

	<p>ないと、ものすごくお金が違いますよね。アンダーパスをつくるとなるとかなりのお金がいるわけで。今せっかく駅の跨線橋をつくったわけですから、そこをどんどん人が往復すれば、ある程度目的は達する。そういうところを見通して。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今はほとんど人が通ってない所を人がどんどん通るようになれば北と南が一体化できるわけで、「文化・交流」のためにアンダーパスをつくるという事なのか、どういう事なのでしょう。
愛媛大学大学院教授 吉井 稔雄会長	<ul style="list-style-type: none"> ・道路の話はまた後でと思ったんですけど、こたえていただけますか。
新居浜工業高等専門学校 校長 鈴木 幸一氏	<ul style="list-style-type: none"> ・まず道路の話はしないというのは、どういう議論をしたらいいかよく分からないんですけど。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・まず土地利用を考えていただきたいと思って、今回提案させていただいていまして、いわゆる道路がないと土地利用が決められないっていうのもありますけれども、道路についてはもう少し後でお話をさせていただけたらと思っております。 ・いま鈴木委員からおっしゃられた何のために道路がいるのか、なぜ道路網としているのか、どういった意味合いを持っているのかというのをまた考えていきたいと思っております。 ・今の段階ではできましたら土地利用としてどうあるべきかということを考えていただけたらと思ったご提案となっております。
愛媛大学大学院教授 吉井 稔雄会長	<ul style="list-style-type: none"> ・道路と土地利用と切っても切り離せない関係であるということは間違いないんですけども、当然土地利用が決まればそれにあった道路も少し見えてくると思いますし。先に道路を決めちゃうと土地利用の方にも制約が出てくるということもありますので、なかなか考えにくいかもしれませんが、ここに何を持ってくるのか、というところをここでは議論させて頂きたい。 ・いかがですか。なかなか考えにくいと思うのですが、「賑わい」を多く取るとか「文化・交流」施設を大きく取るとか、4つそれぞれ違いがありますから、そこらへん先生どうですか。
新居浜工業高等専門学校 校長 鈴木 幸一氏	<ul style="list-style-type: none"> ・今言ったようにですね、人の動きとか、よそから来た人はA案だったらA案の赤い所で楽しむという事になります。その時は人の動きだから今の立派な跨線橋があれば、十分南北の交流はできていけるんじゃないでしょうか。A案の様な形で「賑わい」を設定するっていうのは非常に良いのかなと思います。
新居浜市商工会議所 観光町おこし委員会委員長 妹尾 次郎氏	<ul style="list-style-type: none"> ・もともと4ページにありますように、連続立体交差事業が前提としない駅南の事を考えていますけれども、そういう中で商工会議所も、それまで立体交差事業期成同盟会みたいなものをつくっており、先日、市長が説明に来られ、連続立体はできないというこ

	<p>とで期成同盟会も発展的に解散し、会議所の中で今後それに代わる新居浜駅まちづくり検討委員会を設立しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 7月24日に第1回目のまちづくり検討委員会を開催し、その時にも建設部長さんはじめ都市計画課にも来ていただき、いままでの経緯と今日の流れのようなものをご説明いただいた中で、具体的に検討していく前提として、会議所ですから一応経済界という形で見たとときに、いろんな生活者視点と商業・産業といった視点で違いはありますが、いずれにせよ、いくらいい案が出たとしても、制約条件的に駄目なものがあると思うのです。そういったものをあらかじめ明確にした上で具体的な議論にしていきたいかという意見でございます。 ・ JAさんの面積もございませし、その辺がどこまで流動的に可能なのかという所も大事な事ですし、鈴木先生が言われた南北の道路の問題とかですね、今は全然触れられてはいませんけれどもJRさんの貨物ヤードをどうするかとか、そういったものをまずどこまで流動的な変更要件として可能なのかという事をあらかじめ明確にしておくことが必要じゃないかということです。 ・ アンダーパスができるのであればその目的、我々経済界からいうと物流も視点に入れたものでやらないと人だけのものだったら、あまり駅周辺の活性化にはつながらないんじゃないかという意見もありました。 ・ 新居浜市さんの方にもお願いしときたいのですけれども、市としても莫大な予算でやっていく以上、今後少子高齢化という中でコンパクトシティというのがうたわれていますので、つくった後の運営の事も踏まえてどこまで考慮しているのかという事や南海大地震等々ありますので、防災に対して寄与すべきものを加味するのかしないのか。 ・ また、新幹線構想、何年先の事が分かりませんが、そういった環境的な要因も可能な限り反映した上でより具体化して欲しい。 ・ A～D案、決していけないというわけではなくて、具体化していく中でどうしても譲れない制約条件的なものはあらかじめ潰しておいた方がいいんじゃないかということです。
<p>愛媛大学大学院教授 吉井 稔雄会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ いろいろご意見いただきまして、何かありますか。
<p>(一社)新居浜市医師会 会長 中山 恵二氏</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ いろいろここで議論していくことに加えて現在住んでいる方、JAさん含めて南、今回の事業で影響する住民の開発に対するコンセンサスは得られてるんでしょうか。それなしにしては話は進まないと思う。北の時も道路が掛かる掛からないで、何年もかかっ

	<p>た。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 話を進めていく中で、現時点で住んでいる方、土地を持っている方のコンセンサスを得るということも並行しないと話にならないんじゃないか。その辺の確認がどうなっているのか教えていただきたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駅南を検討するにおきまして、平成 23 年度に駅裏中筋線から東側のエリアを対象にアンケート調査を行っております。 ・ 駅裏中筋線の西側エリアはいろんな検討案をまとめた結果として、既に住宅地が貼り付いているということもありまして、特段、駅南まちづくりについてご意見がなかったということで A～D 案四つの案ともに同じような状況になっております。住居系を維持するべきじゃないかというご意見を含めましてこういう表現にさせてもらっております。 ・ 平成 23 年度もその区域については住宅系が成り立っているということで、アンケートの範囲からは外し、検討している東側を調査エリアとして行ったという経緯があります。その調査といたしましては、現況の土地の状況、所有されている所有形態とか状況を把握するためにアンケートを取らせていただいたのと、今後の土地利用に向けて、まちづくりの関心、必要性などをきいています。 ・ 結果としては、まちづくりの必要性については「非常に感じる」と「感じる」とが約 7 割近くのご意見をいただいています。 ・ いま進んでいる段階としましては、市のまちづくり協議会ならびに、いろんな市民の意見を聞く必要があるということで、南の松木坂井の自治会関係、泉川校区で出前講座をはじめ進捗状況を説明させていただいてその時にご意見を頂いている状況です。
愛媛大学大学院教授 吉井 稔雄会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 条件を決めないと考えられないのですけれども、二ワトリと卵みたいなのところもありますから、まずは理想の形というものをぼんやりではありますが、築き上げ、それから少しずつ実現の可能性を考えていくという手順の考えです。 ・ 住民の方の意向もありますでしょうし、JAさんの敷地もあるでしょうし、JRもあるでしょうし、立体交差に関してはちょっと置いときましょうという事だけは決まったようですが、それ以外についてはこの段階ではどうなるか分からないというところで、考えていきましょうということです。 ・ まずは理想的な状況がどういうものかというのを考えていただきたいということです。
新居浜工業高等専門学校 校長 鈴木 幸一氏	<ul style="list-style-type: none"> ・ 制約条件の一つで、JR貨物用地はそのままこの絵では残っているのですが、それはもう議論する必要はないということでもいいんですか。

	<ul style="list-style-type: none"> それをJR貨物に何処かに移ってもらうわけにはいかないとしたら、このまま残してということですか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> JR貨物ヤードにつきましては、土地利用とか道路網とか、連携を考える中でどうしてもここにあってはいけないというようなご意見が出れば、例えば民間なり、行政なりで考えることも視野に入れておかないといけないと思っています。 JR貨物さんのヒヤリングの中では、自分から出ていくというようなお気持ちは今のところございません。 何かの事業を立ち上げ、それによって移転が必要だということになれば事業の中で検討が必要じゃないかと思っております。全く移転を置いて、ということではないです。
新居浜工業高等専門学校 校長 鈴木 幸一氏	<ul style="list-style-type: none"> 跨線橋はJR貨物があるという条件でつくってますから、特に計画の支障はないものと考えます。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 跨線橋整備が先行したというのはかなりの老朽化していたものですから、先にそれをやりたいというのが行政サイドとして必要性がありました。
新居浜工業高等専門学校 校長 鈴木 幸一氏	<ul style="list-style-type: none"> あと制約条件としては、今考えているところがそんなに住宅はないという事、農地がほとんどなんですか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> そうですね。もともとは駅裏中筋線から東側は市街化調整区域で線引きがされていなかった。あまり住宅がない。その代わり、下水道とかそういう都市施設自体も整備が遅れている。
新居浜工業高等専門学校 校長 鈴木 幸一氏	<ul style="list-style-type: none"> 自由に描いても、そんなに支障ないということですか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> そうですね。そういうところでご意見をうかがって地元との会合をやっていこうとしていますので。
新居浜工業高等専門学校 校長 鈴木 幸一氏	<ul style="list-style-type: none"> 農協なんかもものすごく土地を持たれているから協力していただいて、いろんな施設がやりやすいという地域であるということですね。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> JAさん抜きでは考えられないというのは間違いありません。
新居浜市農業協同組合 常務理事 曾我部 英敏氏 (代理) 石井 俊一氏	<ul style="list-style-type: none"> 出て行けと言われるんではないかと心配してました。
愛媛大学大学院教授 吉井 稔雄会長	<ul style="list-style-type: none"> むしろ、中心になってやっていただくということではないですか。 他、いかがでしょうか。
松木坂井自治会	<ul style="list-style-type: none"> 「賑わい」のゾーンについてのとらえ方ですけども、新居浜駅

相原 悦滋氏	<p>の1日当たりの乗降される方っていうのは確か3,000人くらいと聞いたように思うんですけども、この「賑わい」のゾーンというのをより発展的に考えていくなれば、基本的にはJRを利用するお客さんより新居浜市民がどう利用するかにかかってくると思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 道の駅というものになりますと、新居浜市周辺からの集客っていうのもある程度見込める。 ・ 駅のすぐ横に作るから駅を利用する方の「賑わい」っていう部分っていうのはそう大きくはないんじゃないかなと思う。基本的な「賑わい」のゾーンができたとしても駅を乗降する方のご利用の割合っていうのはおそらく2割3割くらいで、あとは市民の方が「賑わい」のゾーンに来てくれるという形になると、結局また道路の話になるんですけども、高木線だけでは集客が難しい。例えば高速道路、国道11号線からのアクセス、駅より北に住んでいらっしゃる方が駅の南側に来るための道路のアクセスというのがある程度ないと、集客を図る施設をつくるのであれば現状の道路環境では難しいんじゃないかなと思います。
愛媛大学大学院教授 吉井 稔雄会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ いまこの道路は容量一杯なんですか。この辺の高木中筋線とか国領高木線は混雑が激しいと思ってよろしいんでしょうか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 数字的には今、把握できてないのですが。
愛媛大学大学院教授 吉井 稔雄会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今のご意見は非常に大事と思うのですが、その場合はこの道路というよりは、ここに来るということですよ。県道国領高木線を拡幅するとか、あるいはもう1本道路引くとかですね。そういう容量の問題が大きいかなと思います。
松木坂井自治会 相原 悦滋氏	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駅より北の方っていうのは高木中筋線、平和通をご利用されて道路に上がって行ってると思うのです。この地図の中で言う県道国領高木線とスーパーフジさんの周りの細い道路ですね、これっていうのはほとんど生活道路的な、朝夕の通勤ラッシュ時以外は比較的スムーズに通行は出来る状況です。ただ、駅南地区エリアの中に北側の住人の方が入ってくる環境っていうのは、今のところそういった設備もないものですから、基本的には素通りするエリアだと思います。今は。
愛媛大学大学院教授 吉井 稔雄会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道路も大事なんですけど、ここでは描かれてないんですけど、駐車場をどこに置いてくるかという話が大事になってくるのではと思います。
松木坂井自治会 相原 悦滋氏	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の間人としては「賑わい」のゾーンをたくさんつくってくれるのは非常にありがたいですけども、この開発エリアの中に公園が1箇所もない。
愛媛大学大学院教授	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公園がないのですか。「文化・交流」っていうのは公園ではないの

吉井 稔雄会長	ですね。
松木坂井自治会 相原 悦滋氏	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防災面も含め、一時避難の場所は地域の人達が公園に集まってくるというような形ですね。地元としては地元の間人が有効に活用できる施設がまず欲しい。 ・ そういった農業型の公園でもいいですし、憩える場所っていうのが、このゾーンの中にはないですよ。公園と呼ばれる場所もおそらくない。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「文化・交流」ということで公園は位置づけています。
愛媛大学大学院教授 吉井 稔雄会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「文化・交流」の中に公園の可能性もあるということですね。 ・ 駅の旅行客に関しましては、駅っていうのは残しておく、もしここが非常に集客力のある施設が出来ましたら必ず役に立ちますので、駅の横っていうのは潜在的にいい土地だと思います。 ・ 現状を見ると、あまり鉄道に乗ってやってくるという方はいらっしやらないですけども、将来的には車の運転が難しくなってきた高齢者の方とか鉄道でアクセスできますので、非常に立地条件いいかなと思います。
新居浜工業高等専門学校 校長 鈴木 幸一氏	<ul style="list-style-type: none"> ・ 非常に魅力ある地域になると、たぶん高木中筋線から北の方から人がいっぱい来ると思います。結局、高木中筋線からこっちの県道国領高木線、この道路がものすごく広がったら人がどんどん集まれるようだったら、各施設の中に駐車場がいっぱいできると思います。 ・ 北の人を呼び込むというのは、ここに魅力のある施設があるかどうかであって、アクセスがアンダーパスのようなものがあるから来るような気はしないです。道路があるから来るのではなくて、魅力ある施設があるのかどうかということが高木中筋線で、みんなどんどん入ってくるような気がします。
愛媛大学大学院教授 吉井 稔雄会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ わたしもそんな気がします。でも容量は大事です。渋滞が激しくなるとは困ります。
新居浜工業高等専門学校 校長 鈴木 幸一氏	<ul style="list-style-type: none"> ・ 横の道を広くし、入り易いようにしておけばどんどん来る。
愛媛大学大学院教授 吉井 稔雄会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 他になにかありますか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第1回の資料の中に入ってたものですけども、これが高木中筋線で、これが下泉中村松木線ですけど、今アンダーで通ってるところがだいたい交通量が12時間交通で22,800台くらいです。片側2車線、全部で4車線です。こちらが片側1車線なんですけど、12時間で4,400台くらいです。 ・ こちらの県道国領高木線が6700台です。平成22年くらいのデ

	<p>ータだと思えますけど、交通量調査での数字です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 踏切の問題等はあると思えますが、道路としてはキャパ的にはあふれているという状態ではないということです。
愛媛大学大学院教授 吉井 稔雄会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設にもよりますけど、ピークの時間帯に渋滞が起こるという可能性は十分ありますけど、現状としては容量はそんなに心配しなくていいという状況ですかね。 ・ 当然あわせて拡幅等々出来たらいいと思えますけど。 ・ あまり土地利用に関する話が出てこないんですけども、女性の目からどうですか。何か気づいたことはございませんか。
(一社)新居浜市観光協会 専務理事 鎌田 眞太郎氏 (代理)吉本 さやか	<ul style="list-style-type: none"> ・ JAの石井さんがおっしゃられたように、JAさんを抜きにしては考えられない。わたしは観光協会からなんですけれども、「賑わい」と考えたときに、今度できる総合文化施設と一緒に、例えばイベントがあった時に駅南にも足を運んでもらえるような施設があればと思うのと、1日だけ、一過性のイベントではなく、常時賑わいを持たせるような施設でないと、土日限定であるとか1年に1回のイベントであるとか、そういう風では有効な活用とは思えない。JAさんを核にし、道の駅、例えば農産物の直売所とかありますけど、そういったところにいろんなものを置くマルシェみたいな形の展開で、イベント広場とかもつくる。 ・ また、何かある時には駐車場とか防災に対応できる場所もある。公園だったら公園だけとかではなく、1つのものでいろいろな用途があるような場所ってというのはつくれないのかなと思う。賑わいの場でもあるし、地域の方の憩いの場でも、欲をいうとキリがないんですけども、そういう風な場所があればと思う。
愛媛大学大学院教授 吉井 稔雄会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ いろんな目的に使えるということですね。
(一社)新居浜市観光協会 専務理事 鎌田 眞太郎氏 (代理)吉本 さやか	<ul style="list-style-type: none"> ・ いま、365分の1ではありますけど、新居浜太鼓祭りの際にJAさんの駐車場をお借りして、山根のグラウンドまでシャトルバスを出して利用させていただいている。 ・ たかが1日なんですけれど、その1日が大事な部分でありまして、それも加味して考えていただくと、JAさんを中心にして施設が出来ないかなと思う。
愛媛大学大学院教授 吉井 稔雄会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ そんなに大きな規模じゃなくていいんですけど、日常的に賑わってる場所が出来ると、それは非常に潤ってくる、賑わってきます。そのためには、1つの目的に特化した施設じゃなく、いくつかつくる。公園の中でもフリーマーケットをやってもいいわけです。当たり前ですけど。
(一社)新居浜市観光協会 専務理事	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在、中央公園なんかでやってらっしゃいますし、いろいろな利用の仕方があるのではないかなと思います。

<p>鎌田 眞太郎氏 (代理)吉本 さやか</p>	
<p>愛媛大学大学院教授 吉井 稔雄会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ アメリカやヨーロッパに行くと、普通に路上でフリーマーケットをやっています。日本はあまりなくて、なかなか許可をもらうのが大変だったり、1つの目的に特化していったらと思うんですけど、是非ここに施設をつくるのであれば、複数の目的、毎日何かがやってくるようなものが理想です。 ・ 今のご意見をうかがっていると、北側の「文化・交流」施設とつながる形で、「文化・交流」施設あるいは「賑わい」の施設をつくるのがいいという事になります。
<p>(一社)新居浜市観光協会 専務理事 鎌田 眞太郎氏 (代理)吉本 さやか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 来られる方の目的が、例えば文化施設の美術展であるとか、何かがあってそっちに来られる、でも南側に行くと「こういうのもあるんだね」とか「こういうことをしてる」という風に楽しんでいただきたい。
<p>愛媛大学大学院教授 吉井 稔雄会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ そうすると、相乗効果で集客力が上がります。そういうまちにしていくと良いですよ。ありがとうございます。 ・ あと保育所っていうのがあったと思いますが、保育所というのは趣旨とは合わないですか。保育所、保育園をつくと日常的に人が集まるっていうことにはなりません。ちょっと違う感じですか。
<p>(一社)新居浜市観光協会 専務理事 鎌田 眞太郎氏 (代理)吉本 さやか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人が集まる、というのとちょっと違う感じがします。
<p>愛媛大学大学院教授 吉井 稔雄会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 違う感じですけど、子供を届け迎えにきて、横に何かものを売っている所があったら、そこで買い物をして帰るという流れになります。そういった保育園みたいなところでも、趣旨には合っているかな、日常的に人を集めるっていうところで、みんなで使えるのかなって私は思いました。
<p>新居浜市福祉施設協議会 副会長 住友 裕美氏</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前回グループで出し合った意見などから、エリアごとに「賑わい」の施設とかいろいろ案を出していただいていますけれど、前回でも一番多く出た意見としては人が集まるような「賑わい」の、フリーマーケットであったり地産地消の場であったり、公園とか、何か月一回イベントがあってその時に人が集まるというよりは常時催し物があったり、足を運んでみようと思えるものがいつも催されてるといふか、そういうのがあると良いというような意見が多かったのかなとは思ったりしますので、そういった点では「賑わい」の部分や「文化・交流」の部分に少し広く土地を有効活用するというのが南の活性化というのではいいのかなと思うのですが。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実際いま住まわれてる地元の住民の方たちの生活と、生活の部分にそういった人が集まる部分が入っていくことになるので、地元的生活者との話し合いが必要ではないかと思います。 ・ さっき言われていたように駅の近くにあるということは、車だけではなくJRを使って人がそこに来るという点で集まりやすいという部分はあるのかなと、そういう社会にもなって来ています。 ・ JRで駅を降りたところで移動せずにそこで楽しめたり、買い物や食事ができということになって、特色ある賑わい施設になると市外からも来られるのではないかなと思います。 ・ 岡山の倉敷や岡山駅周辺には、商業施設などの賑わい施設が沢山あって、駅を降りたらそこにあるので、そこから移動しなくてもいいとなると、車で行くよりJRで行くって言われる。橋代も高くなったというのもあると思いますが、駅を降りたところですぐあるというのは運転する煩わしさもなくっていいという事は言われているので、それはやっぱりメリットかなと思います。
新居浜工業高等専門学校 校長 鈴木 幸一氏	<ul style="list-style-type: none"> ・ 私は周桑郡の周ちゃん広場に毎週行くんですけど、あんな遠い所にいろんなものを買に行く。そこに行けば本当に色んなものがありますし、ああいうものがすごく成功した例があるわけですよ。それが新居浜駅の近くにもあるとか、あれはものすごく人を集めています。そういうイメージのものがここにあればかなり違うのではないかと、そういう事をイメージされてるのかなと思ったのです。
新居浜市農業協同組合 常務理事 曾我部 英敏氏 （代理）石井 俊一氏	<ul style="list-style-type: none"> ・ あそこは生産農家というか出荷農家が千何百で、かなり多くの農家の人が出て、しかも専業農家が多い。取扱い金額が18億円くらいです。あと、農業関連の加工やいろんなエリアの加工品を含めた取扱いをしています。また、それに合わせて果物が非常に豊富ですけど、そういうエリアということであれだけの数字が出ている。新居浜の方が西へ向いて行かれるのは良くわかる。周ちゃんも行かれますし、今治のさいさいきて屋も行かれる。新居浜は量的に非常に少ない。農家数や四季折々の果物があれば全然違うんですが、明確な特産品というものがございません。新居浜がもしここで一気にたくさんのお客さんが来てくれるような農産物を集めることが出来るかと言ったらそれはちょっと難しいとは思いますが。インショップも含めて農協の直売も含めてやっと2億円です。
新居浜工業高等専門学校 校長 鈴木 幸一氏	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新居浜の市民がそんな遠い所に買いに行くっていうことは新居浜にそういうものがないから、みなさん行ってるわけですよ。そこらが上手い、魅力あるものが出来ないかなと思います。
新居浜市農業協同組合	<ul style="list-style-type: none"> ・ 果物にしても野菜にしてもそのエリアの需給の割合というものが

<p>常務理事 曾我部 英敏氏 (代理) 石井 俊一氏</p>	<p>ありまして、非常に低いです。他市から入ってきているものが非常に多い。米も含めて野菜もですね。そういうエリアであるということで、周ちゃん広場にしても農家の品物だけではなく、市場から引っ張って来るものもかなりあります。半分くらいあります。新居浜の場合は流通がかなり密集している。大きな大型店もあります。そういう中で、インショップで色んな店で我々もやっています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 集客のあるところに品物を持って行って、十分ではないかもしれませんが、新居浜の品物だという事で満足していただき品物がほとんど残らないということがございます。直売所にお客様が来てくれるという前提があって1箇所に品物が行って、全て生産者の品物が捌けるかといえはおそらく色々な問題がある。たくさん残るといような色んな問題が出てくる。現実には周ちゃんも多くの品物が残るようになった。今治の方は、残った品物は自分のところで処分みたいな事をやったり色々やっています。何処まで利用できるかというようなことです。基盤が少し違います。
<p>愛媛大学大学院教授 吉井 稔雄会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ レストランなんていうのは小さな町でも成功している例はたくさんありますが、ここで地元の方がやっていたらしゃる小さな感じでいいんですけど、地元の方が来る、地元の方がやってる、地産地消のレストランといいますかね、そういうものをつくるっていう可能性は結構あったりするかなと私は思いますが。
<p>新居浜市農業協同組合 常務理事 曾我部 英敏氏 (代理) 石井 俊一氏</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 先生が言われましたように、比較的小さな道の駅なんか直売所と合わせて、その周辺のお母さん方が来られて、自分のところの品物を使ったお菓子とかうどんそばをやっておられて、結構喜ばれている。
<p>愛媛大学大学院教授 吉井 稔雄会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ もったいないのは道の駅のレストランはあまり雰囲気がいいって感じがない。高級ではないが、もうちょっと雰囲気のいいレストランっていうのをつくってあげると安いコストで、いい雰囲気とおいしい料理を提供できる。それも集客の1つで、その横にフリーマーケットなんかがあるといいかなと思います。やりたいことはいっぱいありますが、できる事は限られてますから、是非色々な可能性を考えていただければと思います。 ・ あとは、どうですか。
<p>市民公募委員 多田羅 弘美氏</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 私が一番魅力的だなと思うのはD案で、すごく分かりやすく表現をしていただいて、こういった都市計画を分かってない私が委員になってるのもあれですけど、私がもしこのまちに初めて来て「賑わい」のまちが駅沿いにあったら歩いてみようかなって思います。 ・ 私は一般から入っていますけど、一応保育園の園長をしています

	<p>が、幼稚園とか保育所とか病院とかが集まると、今から少子化になり、保育所も生き残っていくために国も法律とか変わって、子供の取り合いじゃないんですけど厳しい時代になっていて、駅前で何処か遠くから都会のように駅に保育所があって子供を預けて自分が仕事に行くというような、新居浜市はそういう都市ではなくて、車で仕事に行く途中で子供を預けて仕事に行く、帰りは仕事場に近い保育所だったら早く迎えに来て家まで帰れるというような流れなので、あまり生活というものが「賑わい」の所にない方がいかなと私は思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 文化施設等の繋がりは、みなさんがおっしゃっていたように大切かなと思うので JA さんも鈴木先生もおっしゃってますけど、私も周ちゃん農協によく行くんで、そういったものとか松山の「そらともり」、2回目の会の時にも言ったんですけど、温泉施設とかも「賑わい」の場所に1つ大きいのがあったら来やすいのかなと思います。 ・ 生活している相原さんが言われたように、あまりこの生活を壊さずに「賑わい」の場所にも行けたりとか出来るようにした方が無理がいかなと私は思います。
愛媛大学大学院教授 吉井 稔雄会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ ありがとうございます。 ・ 皆さんの行かれるところは今治なんですか。
新居浜工業高等専門学校 校長 鈴木 幸一氏	<ul style="list-style-type: none"> ・ 西条の丹原、かなり遠いんですけどみんな行っています。
愛媛大学大学院教授 吉井 稔雄会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ そういう感じの施設が是非とも欲しいということですね。 ・ 結構時間経ってきたんですけど道路の話もした方がいいですかね。説明していただけますか。

②道路について

事務局から資料説明

《協議》

愛媛大学大学院教授 吉井 稔雄会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ ここにアンダーパスで道路を通すとどうしても分断されるということです。これはもうやむを得ないのでしょうか、恐らく。したがって、A案B案のように道路を通した場合には、人も含め、東と西の行き来がやや難しくなるということなので、広い範囲での「賑わい」を考えるのであればD案のような形が理想的だということかと思えます。 ・ そうは言っても、必要性の高い道路であればそれはつくらなければならないという事になります。 ・ これは車じゃなく、歩行者だとしたらどうなるのですか。歩行者
----------------------	---

	<p>の移動を考えると、歩行者の動線を満足する道路と考えるとなると、地下道みたいな感じになりますか。上を広く通すって事は出来ないのですか。</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 西側に南北自由通路がありますけども、人を通すだけであれば東側にも跨線橋をつくるっていうのも1つの案ではあります。
愛媛大学大学院教授 吉井 稔雄会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ アンダーパスをつくるとすると歩行者も今の歩道のところを通るということですね。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ そうです。今考えているのは車と歩行者と両方という形になっています。
愛媛大学大学院教授 吉井 稔雄会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 何処に行っても地下道、トンネルにすると、非常に分断されます。トンネルというのは、あんまり行こうって感じがしない。 ・ 地下道となると、治安も悪い。やっぱり上がいいです。鉄道の上を広く歩道橋とすると、色んなパフォーマンスをやっている人が現れたりする。私の個人的な意見を申し上げました。
新居浜工業高等専門学校 校長 鈴木 幸一氏	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全体を見て、ここに道路がなければ人が集まらないという事ではないと思う。むしろ、道路はキャパシティがあるとしたら、いかに魅力的なものをここに作るかによってくる。
愛媛大学大学院教授 吉井 稔雄会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 物流も別にここに道路がある必要はないような感じがします。
新居浜工業高等専門学校 校長 鈴木 幸一氏	<ul style="list-style-type: none"> ・ 跨線橋をもう1本こっちにつくって人さえ動けばと思うがどうか。
愛媛大学大学院教授 吉井 稔雄会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 例えばD案であれば、今の跨線橋はちょっと端すぎますよね。 ・ 何度か出てきましたけど、踏切があまりよろしくないという事なので、南北方向の車輛の通行についても改善するという事は考えるべきだと思います。県道国領高木線は踏切の閉鎖時間が長くてよろしくないという話がありました。そこは何とか改良し、もしそれほど強い必要がないのであれば、アンダーパスを通すより歩行者の快適な空間をつくる方がよろしくないでしょうか。 ・ その方が南側と北側の繋がりも密になると思います。東西方向の分断もされずにすみます。
(一社)新居浜市観光協会 専務理事 鎌田 眞太郎氏 (代理)吉本 さやか	<ul style="list-style-type: none"> ・ それは必要でしょうか。歩行者の部分を見ると、今ある分で十分ではないかと思います。
愛媛大学大学院教授 吉井 稔雄会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ いまあるんですか。
(一社)新居浜市観光協会 専務理事	<ul style="list-style-type: none"> ・ いま立派なのがありますよ。

鎌田 眞太郎氏 (代理)吉本 さやか	
愛媛大学大学院教授 吉井 稔雄会長	・ 西の方ですね。駅の東側にもほしいなと私は思うんですが、いら ないですか。
(一社)新居浜市観光協会 専務理事 鎌田 眞太郎氏 (代理)吉本 さやか	・ 歩いてもそんなに距離があるものではないと私は思うので。あれ だけ立派なものがあれば。
愛媛大学大学院教授 吉井 稔雄会長	・ さっきの話にもありました「文化・交流」施設でコンサートがあ った後に南側行こうってなった時は、駅の東から西に歩いて行っ たらちょっと距離があります。そんな大したことないですか。
(一社)新居浜市観光協会 専務理事 鎌田 眞太郎氏 (代理)吉本 さやか	・ いまの跨線橋自体の位置が降りたところにJAさんなり、何かの 施設があるという形になってるので、だからそこはいらな いと思います。 ・ エレベーターもついてる立派なものがあり、自転車の方もエレベ ーターで利用できる。
愛媛大学大学院教授 吉井 稔雄会長	・ 自転車も結構通るんですか、跨線橋は。
新居浜工業高等専門学校 校長 鈴木 幸一氏	・ 通れます。
(一社)新居浜市観光協会 専務理事 鎌田 眞太郎氏 (代理)吉本 さやか	・ 自転車置場が南側の方にありますので。
新居浜工業高等専門学校 校長 鈴木 幸一氏	・ 直接、新しい文化施設の近くにあれば理想的です。2本あれば。
愛媛大学大学院教授 吉井 稔雄会長	・ まあ、なくてもいいということですね。
市民公募委員 多田羅 弘美氏	・ 若い人だけじゃない、お年を召された方も来てもらうためには、 やはり近くを通れる方がいいと思います。
新居浜工業高等専門学校 校長 鈴木 幸一氏	・ 跨線橋ってというのはアンダーパスを作るよりも費用が10分の1 とかものすごい安いのではないのでしょうか。
事務局	・ 規模にもよりますけど。下を抜くよりは一般的に上を通した方が 安いです。それは間違いないです。
愛媛大学大学院教授 吉井 稔雄会長	・ 新しくできた跨線橋はいくらでできたのか。

事務局	<ul style="list-style-type: none"> 古いやつがありましたので、撤去やトイレ、下の施設を全部含めて10億円くらいとなっています。幅員も6mです。
愛媛大学大学院教授 吉井 稔雄会長	<ul style="list-style-type: none"> 大きいですね。
新居浜工業高等専門学校 校長 鈴木 幸一氏	<ul style="list-style-type: none"> ものすごい立派ですよ。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 実は、跨線橋に屋根を乗せるか乗せないかで全然金額が違います。屋根がついてトイレも入れて9億円ちょっとぐらいです。屋根がないとおそらく半分以下だと思います。
愛媛大学大学院教授 吉井 稔雄会長	<ul style="list-style-type: none"> そんなに違いますか。
新居浜工業高等専門学校 校長 鈴木 幸一氏	<ul style="list-style-type: none"> むしろ屋根が無い方がよいのではないのでしょうか、こっち側は。
愛媛大学大学院教授 吉井 稔雄会長	<ul style="list-style-type: none"> そうですね、ない方がいいかもしれないですね。 どうでしょう、道路。あったら便利だとは思いますが、みなさんのご意見として、必ずしも必要ではないという感じでしょうか。
松木坂井自治会 相原 悦滋氏	<ul style="list-style-type: none"> A案の赤の線がここまで東西の遮断が起これるのであれば、つくらない方がいいのではないですか。上に通してもこんなものですか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 一緒です。勾配が同じですから。
愛媛大学大学院教授 吉井 稔雄会長	<ul style="list-style-type: none"> 上をまたぐのですか？ 道路がですか？ 上の方がもっといきます。
松木坂井自治会 相原 悦滋氏	<ul style="list-style-type: none"> これだけ段差が長い区間があるのであれば、どうせ出来ると住友各社の大きな車両が通ることにもなる。
愛媛大学大学院教授 吉井 稔雄会長	<ul style="list-style-type: none"> 幅員の広い道路をつくとどうしても分断されてしまうので、特にアンダーパスの場合はもっと慎重にやる必要があるでしょう。
新居浜市農業協同組合 常務理事 曾我部 英敏氏 (代理) 石井 俊一氏	<ul style="list-style-type: none"> 駅南に立地しているJAから言わせていただければ、確かに地下に潜っていますので、東西分断は起こりますが、14ページの地図を見れば菊本線の延長と国領高木線は、市内の人、川東の人の使う道路なので利用の形が全部変わってくると思う。この基本線を使って高木中筋に抜けるという、今まで通っているルートが随分変わってくる。道路の利用形態や市内の皆さんの走りやすさ、経済性いろんなものを含めたらあった方がいいのではないかと思います。
愛媛大学大学院教授 吉井 稔雄会長	<ul style="list-style-type: none"> 道路をつくって不便になるということはあまりないと思います。あった方がいいというのは間違いのないと思うのですが、ここにいるのかという所があります。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ ここでは地域分断される可能性が高いというか、間違いなく分断されますので、道路のアンダーパスはちょっと慎重に考えていただいた方がいいかなというご意見が多い感じです。 ・ 道路に関しては他に何かありますか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道路に関しては、A案でもB案でもいいんですけど、駅裏中筋線から西側の部分は、土地利用形態は維持しましょうという住宅の部分ですが、その部分の庄内坂井線の延伸、踏切や松井坂井自治会館等がある所の道路については、幅員を広げるなり踏切改良を考えています。拡充ということで少し考えてはどうかということを考えています。
愛媛大学大学院教授 吉井 稔雄会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ この道路はかなり狭く、交通量が結構あります。事故が起きているのかどうかわかりませんが危険な感じがします。可能な限り拡幅ができればやっていただくということかなと思います。 ・ 国領高木線の踏切を何とか、少なくとも運用で少し通りやすくするという事はアンダーパスをつくるつくらないに関わらず考えて頂ければと思います。 ・ よろしいですか。道路の話はいいですか。何か全体を通して、なかなかA案～D案まで4つ提示されても難しいかと思いますが皆さんの意見うかがっていると、なんとか上手く日常的に「賑わい」を保てるような空間にしたいなという事かなと思います。 ・ 先ほども申しましたが、まずは理想の形を用意し、それから制約を考えながら、これから考えていくことになるかと思います。 ・ 言い残したことは、何かありますか。
(一社)新居浜市観光協会 専務理事 鎌田 眞太郎氏 (代理)吉本 さやか	<ul style="list-style-type: none"> ・ JAさんに頑張って頂きたいと思います。久万高原町に「天空の郷さんさん」というのがオープンしていますが、久万高原町にはそんなにこれっていうものはたくさん置いてない。周ちゃん広場とか、さいさいきて屋のようにいろんな所からいろんなものが置いてあるというようなものはない。やっぱりそこに行けばこれを買えるとか、そういうのがやっぱりあります。 ・ JAさんのそこに行けば、これを買える、これをつくっているとかが食べれるとかそういう特化されたものがあれば、日常的に人が集まる場所ということで、中長期的に考えられる中でそういうものをしていただけたらなと思います。
新居浜市農業協同組合 常務理事 曾我部 英敏氏 (代理)石井 俊一氏	<ul style="list-style-type: none"> ・ とにかく新居浜の特産品を作らないと。久万ならば、やっぱり農業公園があり、リンゴの関係も結構あります。地の利もある。
愛媛大学大学院教授 吉井 稔雄会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 時間の方も結構来ましたんで、終わりたいと思います。